

2022-2024年度ルールの取扱い（修改正点）の抜粋

（公財）全国高体連バレーボール専門部審判委員会

1. チームリーダー（R5）

リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれる。

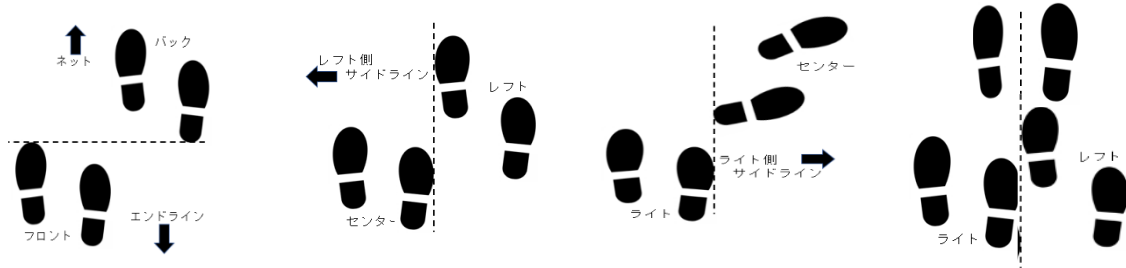
2. スタートラインアップ（R7.3）

ラインアップシートが提出されたら（実際の運用では両チームのラインアップがスコアシートに記入し終えたら）、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。ただし、スタートラインアップの選手が試合前に負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することが可能である。（この変更は選手交代に含まれない。）

3. ポジションの反則（R7.4.3）

前後・左右の関係で、両足が完全に入れ替わった状態が反則となる。

【反則ではない】



【反則となる】

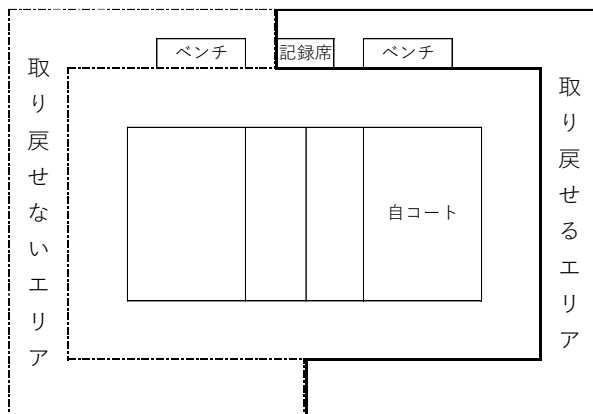


（左右・・・レフトとセンター、ライトとセンターの間には反則はないが、レフトとライトが完全に入れ替わっていれば反則となる。）

4. ボールをプレーすること（R9）

ボールは、自チーム側のフリーゾーン外とその延長線上にあるスコアラーズテーブル上から取り戻してもよい。スコアラーズテーブルの後方は、自コートのフリーゾーン外側と同様に取り戻すことができる。

相手チームについては、フリーゾーン外側の垂直面より内側であれば、ボールを取り戻すことができる。



5. スクリーン (R12.5.1~2)
サービスヒットとボールのコースの両方をボールがネット垂直面に到達するまで隠すことでスクリーンとなる。
サービスヒットまたはボールのコースがレシービングチームに見えるのであれば、スクリーンではない。
6. 相手空間内でのブロック (R14.3)
ブロックの反則 (R14.6.1)
相手チームがアタックヒットを行う前に、ネットを越えてボールに接触することは許されない。
相手空間内で、相手のアタックヒットの前にブロッカーがボールに触れた場合は反則となる。
アタックヒットと同時にブロックの手がボールに触れても反則ではない。
7. 正規の試合中断 (R15.2.4)
同じ中断中に要求を拒否された場合や、遅延行為に対する罰則を適用された場合は、その後に正規の試合中断(タイムアウトや選手交代)は認められない。(次のラリーが完了すれば認められる。)
8. 退場または失格での選手交代 (R15.8)
退場または失格となった選手には、直ちに正規の選手交代が行われなければならない。もしもこれができないときは、チームには例外的な選手交代をする権利がある。これもできない場合は、チームは不完全を宣告される。(例外的な選手交代は、通常の選手交代の回数に含まれない。)
9. 服装 (R19.2)
2人のリベロは他の選手と異なる色で、さらに、お互いに異なる色のユニフォームを着用することができる。

その他

- ・ペナルティエリア (R1.4.6)
廃止。(退場・失格となった選手、スタッフはチーム控室に行かなければならない)
※ チーム控室がない場合は競技場フロア内から出なければならない。
(例; 通路, 観客エリアなど)
- ・タイムアウト (R15.4)
テクニカルタイムアウトの条文が削除された。(= テクニカルタイムアウトがなくなった。)